

お知らせ

2025年6月3日  
九州電力株式会社**川内原子力発電所の廃棄物搬出設備の運用を開始しました**

当社は、川内原子力発電所で発生する低レベル放射性廃棄物のうち、工事に伴い発生する雑固体廃棄物を固化し搬出するための廃棄物搬出設備を設置することとし、工事を進めてきました。

全ての工事が完了し、本日、廃棄物搬出設備の運用を開始しました。

当社は、地域の皆さまに安心し、信頼していただけるよう、引き続き、低レベル放射性廃棄物の計画的な搬出に取り組んでまいります。

以上

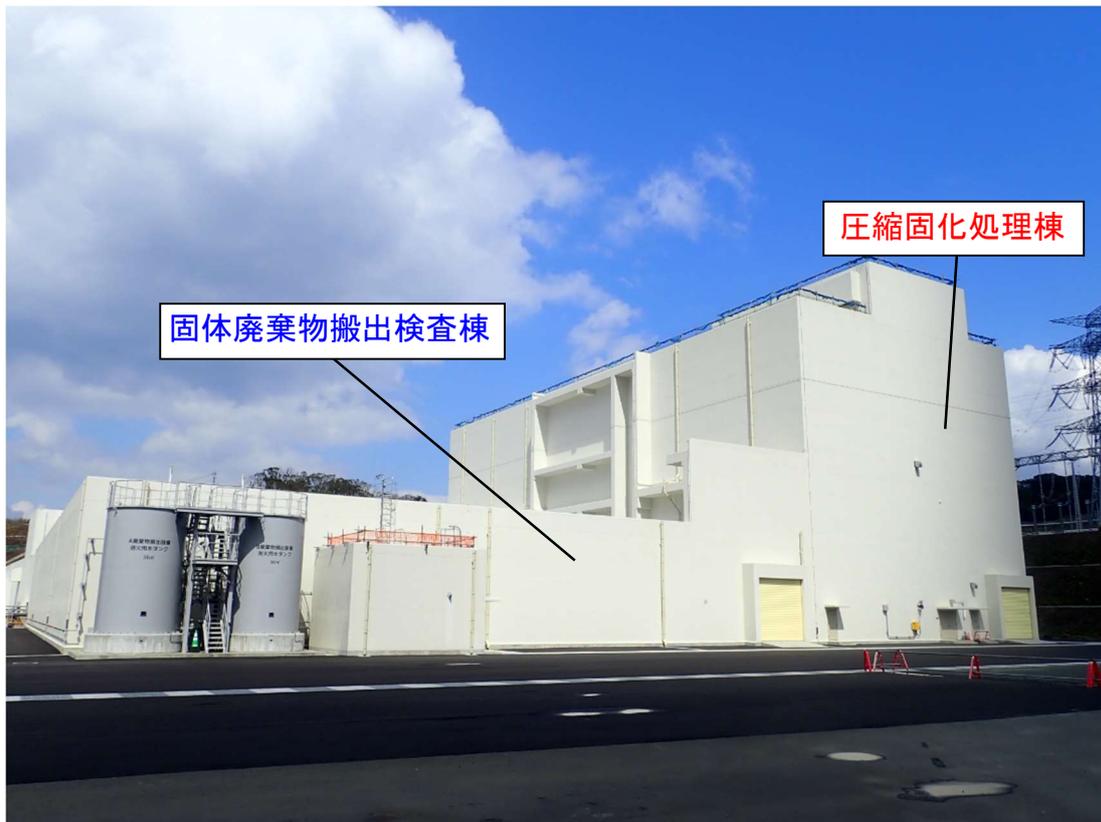
(参考) 川内原子力発電所の廃棄物搬出設備の設置に係る経緯

|             |            |
|-------------|------------|
| 2020年10月21日 | 原子炉設置変更許可  |
| 2021年8月3日   | 設計及び工事計画認可 |
| 2025年4月3日   | 保安規定変更認可   |
| 2025年6月3日   | 運用開始(今回)   |



「快適で、そして環境にやさしい」  
そんな毎日を子どもたちの未来につなげていきたい。  
それが、私たち九電グループの思いです。

## 川内原子力発電所の廃棄物搬出設備の概要

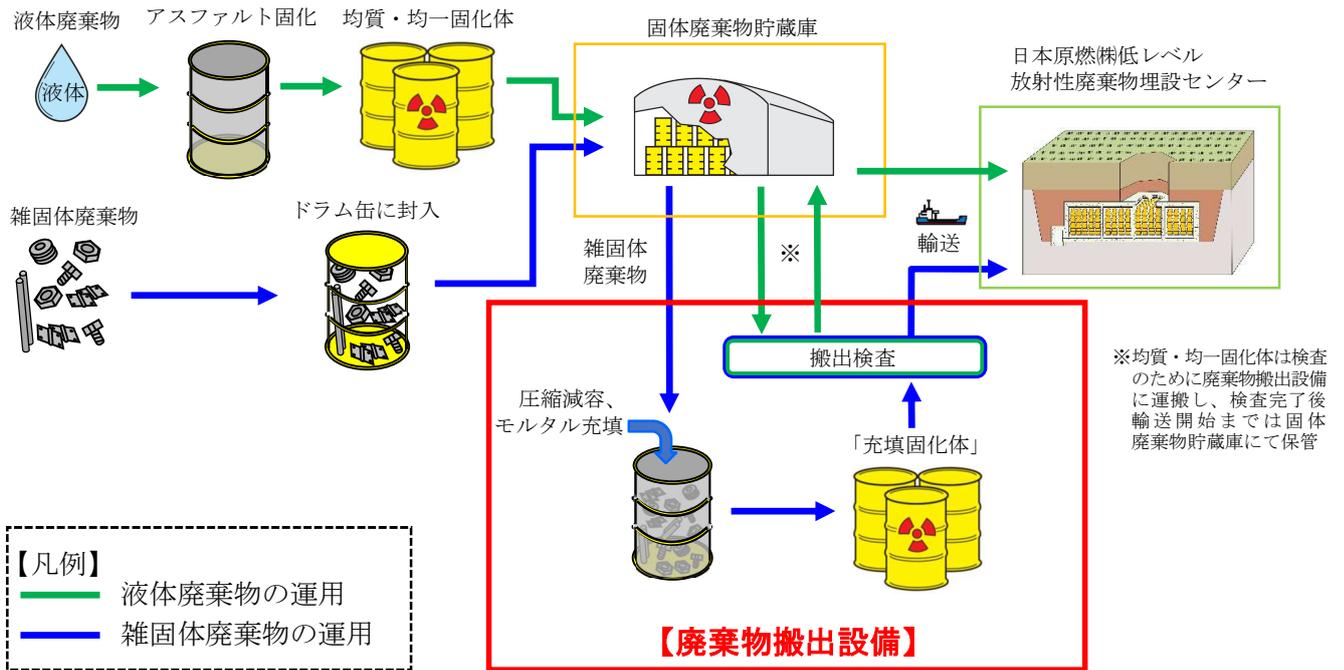


【廃棄物搬出設備の外観】

### ○設備概要

| 項 目         |          | 概 要  |
|-------------|----------|--|
| 圧縮固化<br>処理棟 | 圧縮減容装置   | ドラム缶の本数を減らすため、雑固体廃棄物を圧縮して容積を減らします。   |
|             | モルタル充填装置 | 雑固体廃棄物をモルタルで固めて充填固化体を製作します。  |
| 固体廃棄物搬出検査棟  |          | 固化体の放射線量等が搬出するための条件を満たしているか検査を行います。  |
| 処理計画        |          | 約 1,500 本/年  |
| 建屋規模        |          | 〔圧縮固化処理棟〕<br>約 25 m × 約 60 m、高さ：約 30 m<br>〔固体廃棄物搬出検査棟〕<br>約 45 m × 約 60 m、高さ：約 6 m |

# ○廃棄物の処理・処分



以上